

= 観光によるまちづくり =

官・学・公・民連携による

新しい地域創生戦略プロジェクト

～日本版DMOセミナー～

自治体の皆様へ -コーディネーターからのメッセージ-

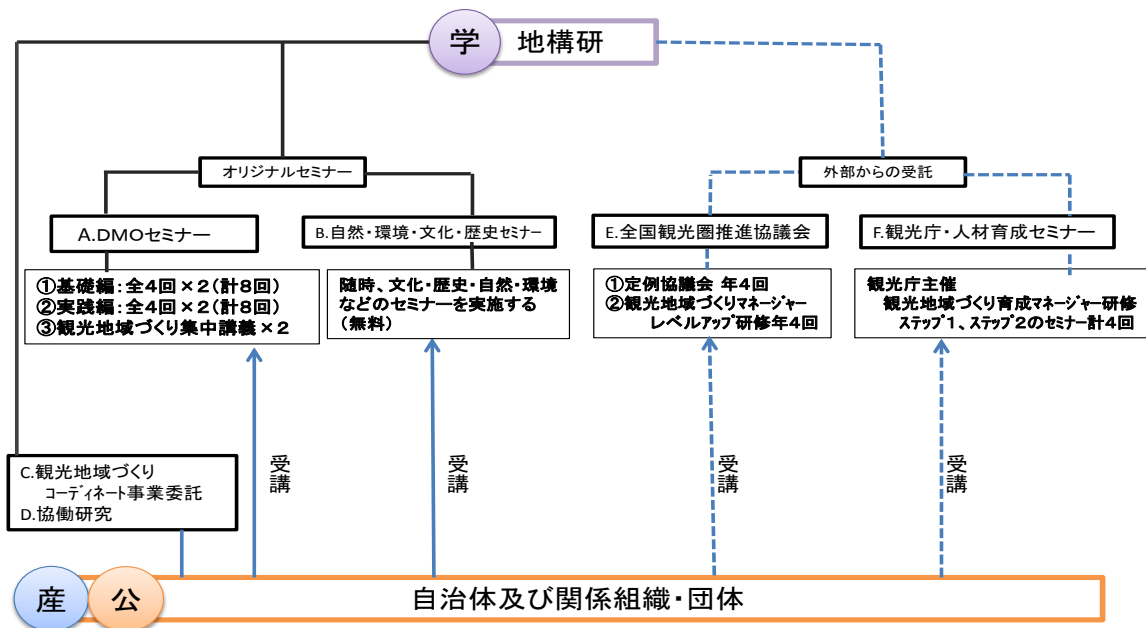
本研究事業は「観光によるまちづくり（日本版DMO）」の推進のためにノウハウを学ぶセミナーと各地域の要望に応える形での委託事業で構成されています。

特に本事業におけるオリジナルセミナーは斯界の第一人者である清水慎一教授自らが教壇に立ち、最新の情報やDMO推進のあり方について事例を交えて、わかり易く解説していきます。基礎編、応用編に分類されているセミナーに参加することによって、地域創生の最有力テーマである「これからの観光による地域づくり」が見えてきます。

また、まちに地構研の人的資源を活用した文化、歴史、自然、環境などをテーマとした特別セミナーやシンポジウムを予定しています。これらは不定期に開催されますので、その都度ご案内いたします。

(参加無料)

自治体の職員の皆様をはじめ、観光協会や商工会さらには関連業者の皆様にお声かけいただき、ふろってのご参加をいただければ幸いです。



= 地域構想研究所 =

1.はじめに（本研究事業の趣旨）

背景としての国の観光戦略

地方の人口減少、地域経済の縮小が大きな課題となっており、交流人口の拡大につながる観光はこれからの地域活性化の中で重要な戦略となっています。2015年にインバウンドが約2000万人となり、政府は「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」（議長・安倍晋三首相）において、これまで目標にしていた「2020年東京オリンピック・パラリンピックの年にインバウンド3000万人」目標をさらに上方修正し、2020年に4000万人、30年に6000万人に増やす新目標を決めました。

東京オリンピック&パラリンピックの開催、観光が世界的な成長産業であること、先進国の中では日本が最下位で今後も伸び代が大きいこと、ビザの要件緩和や免税範囲の拡大など他の分野に比べて成果が期待できること、そして地域経済への波及効果が高いなどが主な根拠となっています。

そのような状況下、新しい観光を推進する仕組みづくりで期待されている「日本版 DMO:観光地域づくり」(Destination Management/Marketing Organization)が地方創生を進める国の観光戦略の柱となりました。それは従来の縦割りの観光戦略ではなく、地域住民、生産者、商店街、ものづくり職人、観光施設、交通など多様なステークホルダーが互いにwin&winの関係になる観光地域づくりを推進するものです。国は今後2020年までに世界水準のDMOを全国で100組織を形成し、「3本の矢」による地域支援を推進していく計画で、既に広域連携DMO4件、地域連携DMO52件、地域DMO55件、計108件の登録が済んでいます(28年11月2日現在:観光庁)。選ばれたDMOは地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として多様な関係者と協働しながら「観光地域づくり」を推進していかねばならないと考えます。

本研究事業の目的と狙い

さて、各地域でDMOを組成し、参加するステークホルダーとの合意形成を図り、「観光地域づくり」を推進することは容易ではありません。しかも、「DMO」は学問的にもまだ検証、精査すらできていないDMOを考えるにあたっては今までの観光振興策を総括し、観光により豊かな地域づくりを実現するという道筋を理解することが肝心であり、その理解なくしては組織を作り上げても成果は期待できません。

観光による交流を活発にすることで地域課題を解決するなど豊かな地域づくりを実現することを「観光地域づくり」とよび、観光は地方創生の重要な戦略となっています。本学地域構想研究所においては「地域資源活用による新価値の創造」をテーマとした研究ブランディング事業の一環として「観光地域づくり(日本版 DMO)」の研究を取り上げてまいります。また、次世代に来る新しい価値とは何かを大きな視座と視野から捉え、当研究所の「研究プロジェクト自然・環境」、「研究プロジェクト文化・歴史」各チームと連携しながら、地域資源を見直すとともに、制度資本・文化資本・教育資本・関係資本の視点からも再評価し、新たな視点で「次世代の観光地域づくりのあり方」に関する実践的研究を行ってまいりたいと考えます。

本研究事業は日本版 DMO の第一人者で、全国各地で地域の実情に応じた「日本版 DMO」の構築を自ら進めてきた清水慎一先生(大正大学教授・観光地づくりプラットフォーム推進機構会長)を中心に、大きな志を持ちながら地方創生を進めてきている連携自治体と協働で、「観光地域づくり」に関する実践的研究と参加地域との相互の連携を図り、「住んでよし、訪れてよし」の地域づくりを推進してまいります。

受講された地域の方々と定期的な研究会を設け、観光地域づくりや地域の取組み、新しい視座などを研究するとともにメンバー相互の関係を強化していきます。

2. 本事業の主な活動内容 (案)

A : オリジナルセミナー

- ① DMO セミナー(基礎編) : 全 4 回を2回・計8回(1回 12,000 円税別)
- ② DMO セミナー(実践編) : 全 4 回を2回・計8回(1回 18,000 円先進地視察料は別途負担)
- ③ 観光地域づくり集中講義 : DMO 組成の前段階の観光協会向けセミナー 年 2 回

B : 文化・歴史・自然・環境などのセミナーを実施する(無料)

C : 「観光地域づくり」コーディネート : 個別コンサルティング事業委託

D : 観光地域づくりに関する協働研究

○各活動の概要

A-① DMO セミナー(基礎編) 全 4 回×2(計 8 回) 講師:清水慎一、柏木千春

「日本版 DMO」の概念や構築にあたっての課題、その進め方などに関し、これまで全国各地で地域の実情に応じた「日本版 DMO」の構築を自ら進めてきた講師が実際の事例を踏まえて平易に解説する。「日本版 DMO」先進地のリーダーもお招きし、講演の中から先進事例を学ぶ。

参考:平成 28 年度開催内容

- 第1回
「日本版 DMO とは何か」
- 第2回
「日本版 DMO を核とした観光地域づくりの手順」
- 第3回
「各地の DMO の取組みから学ぶ①」
- 第4回
「各地の DMO の取組みから学ぶ②」



A-② DMO セミナー(実践編) 全4回×2(計8回) (うち1回は先進地視察含む)

基礎編を受講された地域もしくは、既に DMO を形成して活動している地域を対象に、より実践的な内容で日本版 DMO を核とした「観光地域づくり」について学んでいく。すでに実践している地域の視察と現地で活動している方などとの意見交換なども盛り込む予定。

講師:清水慎一

教材:清水慎一先生監修の DMO の書籍およびテキストブック、映像教材
雑誌『地域人』『清水慎一先生の DMO 誌上講座』

A-③ 観光地域づくり集中講義:DMO 組成の前段階の観光協会向けセミナー 年2回

DMO を組成するに至っていない地域の観光協会や支援団体向けの集中講義。広域の連携や DMO 設立に向けてのステップなどをわかりやすく事例も交えて指導する。

行政機関、観光協会、観光地域づくりプラットフォームなどの担当者を対象とする。

座学・フィールドワーク・ワークショップ演習・OJT による勉強会。

研修内容例

1. 魅力ある観光地域づくりと DMO
2. 魅力ある観光地域づくりのための人材
3. 観光地域づくりのコンテンツ作りとプロモーション
4. 産業資源を活かした地域活性化(産業観光など)
5. 観光地域のおもてなし
6. 観光ボランティア

B. 自然・環境・文化・歴史セミナー

随時、文化・歴史・自然・環境などのセミナーを実施する(無料)

C. 「観光地域づくり」コーディネート(事業委託)

地域の実情に合わせて応相談

内容例

- 観光等に関する各種調査の実施・分析
- ビッグデータを活用したデータ解析
- マーケティングによる地域戦略立案
- 効果的な商品化・プロモーションの企画
- DMO 形成と推進体制の構築

D. 観光地域づくりに関する協働研究・交流活動

受講された地域の方々らと定期的な研究会を設け、観光地域づくりや地域の取組み、新しい視座などを研究するとともにメンバー相互の関係を強化する。